

## 東京大学・地震研究所に国費返還を求める署名

現在、東京大学・地震研究所には「活断層理論」を基礎にした研究に対して、国家からの莫大な研究費が支給されています。

然るにこの「活断層理論」には大いなる誤解があり、正しい地震発生理論でないことは、地震研究所の前教授 島崎邦彦氏と現所長の小屋口剛博氏への二つの公開質問状に回答がないことからはっきりとしています。

地震は活断層が動くことによって起きるではありません。水が熱解離という現象で酸素と水素に分解し、再び元に戻るときに起きる、爆縮という水素爆発と、平衡破綻型爆発とが複合的に起きる現象です。

原子力規制委員会委員長代理の島崎氏は東大地震研究所教授の経歴がある地震学の権威と目されている方ではありますが、地震研究所のOBとしての責任を果たしておられません。小屋口氏も地震研の所長でありながら、回答を出すことができません。

地震爆発論からみて、活断層理論に基づく研究は意味がなく、国費の浪費であることは明白であります。よってここに東大地震研究所に対し、活断層に基づいた研究に支給された国費の返還を求める署名運動を展開いたします。

-----  
以上の趣旨にご賛同いただければ、署名にご協力をお願いいたします。

### 要請項目

東大地震研究所は活断層の研究に支給された国費を返還してください。

### 署名簿

氏名	住所	電話番号
		( )
		( )
		( )
		( )
		( )